

## 町内各地で追悼行事

4月14日、町内各地でも追悼行事が開催されました。町で把握できたものだけになりますが、ご紹介します。

- ①木山仮設団地追悼の集い
- ②安永団地会追悼の集い
- ③心の花モニュメント(広崎)のライトアップ
- ④語り継ぐ 繋げる講演会(NPO 法人益城 だいすきプロジェクト・きままに主催)



①



②



③



④

平成28年熊本地震5年事業

## 被災自治体トップセミナー

4月10日、熊本地震5年事業の一つとして、被災自治体トップセミナー「被災自治体首長が語る震災の教訓と備え」が、阿蘇熊本空港エミナースで開催されました。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の参加者を制限し、主にビデオ会議システムでのライブ配信で行われました。

セミナーは、2部構成となっており、前半は、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の阪本真由美教授が基調講演を行い、普段から他の自治体や企業との連携を強化しておくことの重要性などを述べました。

後半は、被災自治体の首長によるパネルディスカッションが行われ、阪神・淡路大震災の被災地である兵庫県稲美町古谷博町長、東日本大震災の被災地である宮城県女川町須田善明町長、北海道胆振東部地震の被災地である

厚真町宮坂尚市朗町長に西村町長を加えた4人が、阪本教授の進行で議論しました。

各町長から、「風水害の時のマニュアルしかなかった」、「受け入れ体制が整備されておらず、支援の受け入れをためらった」、「災害対策本部を何度も移転し、初期対応が遅れた」などの反省点が述べられ、全ての町長が口をそろえて、平時からの備えの重要性を語りました。



阪本教授 西村町長 宮坂町長 須田町長 古谷町長